

平成28年度第1回

墨田区地域自立支援協議会

日時 平成28年9月1日(木) 10時~11時30分

場所 庁舎17階 区議会第一委員会室

1 開会

2 議題

(1) 地域自立支援協議会専門部会の報告について

ア 卒後対策部会

イ 児童発達支援部会

ウ 障害者差別解消法部会の開催準備について

(2) 「墨田区障害福祉計画【第4期】」及び「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」の平成27年度事業実績、平成28年度事業計画について

(3) その他

3 閉会

(資料)

【事前送付分】

議題(2)用

資料1 「墨田区障害福祉計画【第4期】」平成27年度事業実績、平成28年度事業計画(概要版)

資料2 「墨田区障害福祉計画【第4期】」平成27年度事業実績、平成28年度事業計画

資料3 「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」平成27年度事業実績、平成28年度事業計画(概要版)

資料4 「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」平成27年度事業実績、平成28年度事業計画

【追加配布分】

議題（１）用

資料５ 事業所等利用状況及び卒後の進路一覧（卒後対策部会資料）

資料６ 児童発達支援部会の報告について

資料７ 障害者差別解消法部会について

参考資料 東京都社会福祉協議会「地域福祉推進に関する提言２０１６」
より一部抜粋

墨田区地域自立支援協議会委員

| 氏名 | 所属 | 出欠 |
|--------|-----------------------------------|----|
| 柳田 正明 | 墨田区障害者審査会委員・ 山梨県立大学 | 出席 |
| 清水 裕三 | 特定非営利活動法人 のぞみ | 出席 |
| 長島 孝 | 社会福祉法人 墨田区社会福祉事業団 | 出席 |
| 小野坂 明夫 | 社会福祉法人 墨田さんさん会 | 出席 |
| 河野 元毅 | 特定非営利法人 とらいあぐる | 出席 |
| 中山 美幸 | 墨田区 福祉保健部 障害者福祉課 すみだ就労支援総合センター | 出席 |
| 柳 牧子 | 社会福祉法人 おいてけ堀協会 | 出席 |
| 前田 輝和 | 株式会社 ラックコーポレーション | 出席 |
| 柳瀬 一正 | 東京都立墨東病院 | 出席 |
| 荘司 康男 | 墨田区障害者団体連合会 | 出席 |
| 庄司 道子 | 墨田区手をつなぐ親の会 | 出席 |
| 菊池 昌子 | 肢体不自由児者父母の会 | 出席 |
| 三浦 八重子 | 墨田区精神障害者家族会 | 出席 |
| 小板橋 一之 | 墨田区 福祉保健部 障害者福祉課 | 出席 |
| 岩瀬 均 | 墨田区 福祉保健部 保健計画課 | 出席 |
| 西巻 隆之 | 都立墨東特別支援学校 | 欠席 |
| 秋山 篤 | 都立墨田特別支援学校 | 出席 |
| 鎌形 由美子 | 墨田区民生委員協議会 | 出席 |
| 西森 博 | 墨田公共職業安定所 | 欠席 |
| 栗田 陽 | 社会福祉協議会 | 出席 |

会長 副会長

1 開 会

障害者福祉課長挨拶 省略

会長・副会長の選任

会長 鎌形 由美子

副会長 柳田 正明

2 議 題

鎌形会長挨拶 省略

(1) 地域自立支援協議会専門部会の報告について

ア 卒後対策部会報告 資料5 説明

質疑応答（卒後対策部会）

(A 委 員) 相談を受けている人で、肢体不自由児者通所訓練所（以下「通所訓練所」という。）を希望している来年の卒業生がいるが、通所訓練所が定員で入れず、在宅を余儀なくされるかもしれない。

(事 務 局) 通所訓練所でも把握している。実習について検討しているところである。

(A 委 員) 実習はもう済んでいると思う。

(事 務 局) 3年次の実習を検討しているという話であるので、できれば実習を受けてからということをお願いしている。

(A 委 員) 安全性の問題で、すみだステップハウスおおぞらひだまり（以下「ひだまり」という。）の方では無理である。通所訓練所の方でどうしても受けてもらえないのであれば在宅で、という相談を受けている。

(小 板 橋 課 長) 現在の制度は契約に基づくものであるので、通所訓練所の受け入れ態勢の問題もある。

行政としては、肢体不自由児者の受け入れが可能な施設は確保しているという状況で、その施設からも受け入れは大丈夫であるとの回答を得ている。

現時点では定員が埋まっているという通所訓練所も、これからの利用推移もあるし、また、利用者のご意向もある。一方で、通所訓練所でなければだめだということであれば、通所訓練所の受け入れ態勢もあるが、まだ検討中ということなので、引き続き状況を注視することになる。

(A 委 員) 昨年も話をさせていただいたが、1名の進路をどうするかという問題があった。その時は通所訓練所に入れていただいた。ひだまりも手を挙げていただいたが、重度の重複障害の子供を安全にみられるのは通所訓練所しかない。

(小 板 橋 課 長) そのようなことも実習を受けた時に話されているか。

(A 委員) 話している。しかしながら、ひだまりでは動き回れる方もおり、重心の方が安心して床に降ろしていただけるような空間の確保が難しいようであるので、ひだまりで支援を受けることは望めない状況である。

(鎌形会長) 他にご質問のある方はいらっしゃるか。

(B 委員) 卒後の行き先で課題があれば、この全体会で話し合うこともできる。そういうことが法が想定する協議会の設置目的でもある。

イ 児童発達部会報告 資料6 説明

質疑応答(児童発達部会)

(C 委員) 災害時の対策だが、熊本地震の際、人工呼吸器を使っている子供たちを行政が把握しており、避難がスムーズにいった。区ではそういった子供たちの把握はしているのか。

(岩瀬参事) 東京都から平成24年に調査をするよう指示があり、訪問看護ステーションの方々と連携し、リストを作った。有事の際には自宅にいても、すぐ病院に搬送できるよう態勢を整えている。

ウ 障害者差別解消法部会の開催準備について 資料7 説明

質疑応答(障害者差別解消法部会の開催準備について)

(B 委員) 今後部会を動かすにあたっては、事業者の部分に、交通事業者を加え、メンバーをできる限り多くしたほうがいいと思う。外に広がりのあるメンバー構成をお願いしたい。

(小板橋課長) メンバー構成はこれから詰めていきたいと考えているが、あまり多くしすぎてしまうと今度は議論にならなくなってしまうという問題もある。議論をするのか周知をするのかを考えつつ、柔軟に構成を考えていければと思う。

岩瀬参事 精神障害部会の設置について(詳細は省略)

(2)「墨田区障害福祉計画【第4期】」及び「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」の平成27年度事業実績、平成28年度事業計画について 資料1～4 説明

質疑応答(議題(2)について)

- (C 委 員) 放課後等デイサービスが急速に増えている関係で、質の担保が課題となっている。事業所の人材育成について、区として研修を行うなどの計画はあるか。
- (小 板 橋 課 長) 専門部会の場を使い、様々なテーマを設定し、事業者に話をしていく。そうして事業者のレベルアップを図っている。
- (C 委 員) その時の旬になる話題も大事だが、療育の重要性を理解してもらうような研修も重要だと思っている。
- (小 板 橋 課 長) そのようなことも取り入れていきたい。みつばち園から情報提供を受けながら、療育の重要性を皆さんにお話ししていければと思っている。
- (B 委 員) 放課後等デイサービスは全国的に見ても質の担保が懸念されている。事業所にアンケート調査をかけても回答率が一桁であったりして驚くこともある。研修の充実をお願いする。
- もう一つは工賃についてだが、全国的に見て工賃アップをしているのは農業と福祉をつなげた農福連携を取り入れた事業所である。ただ、都会の墨田区では農業は難しいかもしれない。そこで、無理な工賃設定ではなく、実現的な工賃設定をお願いする。
- (C 委 員) 放課後等デイサービスの立ち上げの規制はないのか。次々に立ち上げられて、また次々に潰れていくようなことになると、継続して同じ事業所に通い続けることができない。
- (小 板 橋 課 長) 区で規制をするのは難しい。墨田区でもニーズを満たすに十分な数があり、これから立ち上げようとする事業者には、もう需要が間に合っている旨を伝えている。
- 墨田特別支援学校の先生、放課後等デイサービスについて、何かコメントがあればお願いしたい。
- (D 委 員) 平成 2 5 年度から放課後等デイサービスが本格的に始まり、そのときは 2 社程度であったが、道路に 1 0 台程度の送迎の車が停車するようになり、近隣から車についての苦情が出ていた。そのため、学校の駐車場に、スクールバスが出た後、車を入れるようになった。現在、保護者からの苦情は届いていない。学校としては、子どもを引き渡す際に、1 日の状態についての引継を行っている。
- 学校として、放課後等デイサービス事業者の職員が有する障害児に関する専門性について、十分な理解ができているとは言えない。

(3) その他

事務局 「地域福祉推進に関する提言 2 0 1 6 」により情報提供

質疑応答（議題（3）について）

- （E 委員） 定員を超えて受け入れているなかで、新たな利用者を受け入れるのがなかなか難しい。職員も努力しているので、今後の推移を見ながら経営体制を整えていければいいと思う。
- （F 委員） 7月12日に作業療法士が産休に入った。そこで、5月から非常勤の作業療法士の募集をかけていたが、8月まで全く問い合わせがなかった。9月1日付けでようやく見つけたところであり、福祉分野の人材不足を痛感した。
国が相模原の事件を受けて、防犯対策の補正予算を組んだが、詳細について情報が入っていたら教えていただきたい。
- （G 委員） 今年のこの4月から空ゆけ未来工房が発足した。新事業の立ち上げは意欲に結びつくものであり、法人は非常に活性化している。今日も1階でハンバーガーを販売しているので、お帰りの際にはぜひお立ち寄りいただきたい。
- （H 委員） 人材確保で困っている。募集をかけた2名のうち1名は専門学校の紹介で来てもらったが、もう1名がなかなか決まらずにいる。また、産休、病休の職員が出て、4月に3名の募集をかけなくてはいいけないが、集まるか不安である。
- （I 委員） 今年度は付託による協議事項がなかったため、就労支援専門部会の開催はなかったが、それに準ずるネットワーク連絡会を開かせていただいた。そこで実務課題の共有や困難事例の考察等について情報交換した。
- （J 委員） グループホームの専門部会ができたのではなかったか。
- （事務局） 昨年度に引き続き、今年度も開催させていただく。
- （J 委員） 学生が精神保健福祉士の資格を取るために実習に来るが、大学生は熱心さを感じるものの、通信教育を経た方の場合には不安を感じることもある。
放課後デイサービスのスタッフの方は資格を持っていないなければならないという規定はあるのか。
- （事務局） 児童発達支援管理責任者については、福祉施設で働いていた経験等、一定の資格が必要である。一方、一般の支援員の方については資格は必要ない。
- （K 委員） 相談支援事業所を6か所運営していたが、3か所が休止中である。
介護保険課と12月に福祉の仕事についてフェアをやる。採用に関するだけでなく、仕事を知ってもらう内容になっている。周知活動を積極的にやっていきたい。
- （C 委員） 精神部会はぜひ活発に活動していただければと思う。
医療的ケア児に関して、福祉保健医療教育で連携して地域の体制を作るようにとの通知が出されている。今年度はコーディネーターを対象とした研修を予定しており、社会福祉法人むそうの戸枝氏に来ていただき、ご講演いた

だくことになっている。

(L 委員) 福祉人材の確保については頭を痛めているところである。常勤23名、非常勤15名、臨時3名がいるが、非常勤職員の定着が一つ課題となっている。給与が低い、身分が不安定ということもあり、辞めてしまう方が多い。社会福祉協議会の必要性が高まってきていることを考えると、常勤職員の割合を高めることも検討している。

(D 委員) 9月30日に、高校1年を対象とした宿泊の防災訓練を初めて実施する。区の防災課とも連携していきたい。

さらに障害の属性に配慮した教育的支援と進路の充実を、図っていく必要がある。

(M 委員) 今不安に思っているのは、手話通訳者がいないと情報が途切れてしまうという点である。自立支援という言葉があるが、目が見えないであるとか、肢体が不自由であるということは表に出るが、手話はあまり注目されない。今日も手話の話は出なかった。障害者も専門部会のメンバーとなるよう期待していたが、差別解消法部会が立ち上がる予定ということで、良かったと思っている。

(N 委員) 家族の高齢化に伴い、障害当事者の高齢化も進んでいる。行政の協力を得ながら、見守っていきたいと思っている。

専門部会に精神障害者も含めていただける方向とのことだが、精神障害者も皆さんの仲間入りできたような気持ちでいる。

(A 委員) 短期入所施設あとむを運営しているが、1名の募集に対して応募がない。また、開所時から雇っている臨時職員がいるが、高齢化が問題になっている。

(O 委員) やまゆり園の事件は、とても悲しく思っている。障害者差別解消法を区民の方に広めていただいて、また、障害者に関する知識を持っていただいて、優しいまちにしていきたいと思っている。

(B 委員) 社会は少子高齢化であるから、必然的に人材不足は起こる。それに加えて、オリンピックや震災復興で人手はさらに持っていかれる。大学の状況を見ると、福祉を志す学生は減り、福祉の学科を閉鎖しているところもある。福祉を学んだ学生も一般企業に就職してしまう。

福祉に想いを持つ人が業界に来れるよう、また、良い人材が入ってこれるようチェック機能を働かせながら、人材を確保していかなければならない。品川区の社会福祉協議会をモデルとして見る必要があるかもしれない。

地域福祉が必要といわれて久しいが、「隣のおせっかいな人」をどうつくっていくかが重要と思っている。

(鎌形会長) 貴重なご意見ありがとうございました。それでは本日の議事を終了とさせていただきます。

(小坂橋課長) 本日はありがとうございました。今年度はあと1回開催させていただくが、今回の人材育成のように、重要な問題を持ち寄っていただき、お話しいただきたい。